



# 平成 28 年 4 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 27 年 9 月 11 日

上場会社名 Hamee 株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3134 URL http://hamee.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 敦士  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部本部長 (氏名) 水島 育大 (TEL) 0465 (22) 8043  
 四半期報告書提出予定日 平成 27 年 9 月 11 日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 28 年 4 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 27 年 5 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 4 月期第 1 四半期	1,271	-	40	-	40	-	24	-
27 年 4 月期第 1 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 28 年 4 月期第 1 四半期 26 百万円 (-%) 27 年 4 月期第 1 四半期 - 百万円 (-%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
28 年 4 月期第 1 四半期	12.49		11.97	
27 年 4 月期第 1 四半期	-		-	

(注) 当社は、第 1 四半期の業績開示を平成 28 年 4 月期から行っているため、平成 27 年 4 月期第 1 四半期の記載及び平成 28 年 4 月期第 1 四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
28 年 4 月期第 1 四半期	2,699		1,768		65.5	912.88
27 年 4 月期	2,906		1,736		59.8	907.62

(参考) 自己資本 28 年 4 月期 1,768 百万円 27 年 4 月期 1,736 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 4 月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28 年 4 月期	-	-	-	-	-
28 年 4 月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成 28 年 4 月期の連結業績予想 (平成 27 年 5 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,349	12.2	464	38.3	432	31.3	271	40.7	141.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
 新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名） ー : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年4月期1Q	1,937,700株	27年4月期	1,913,500株
② 期末自己株式数	28年4月期1Q	ー株	27年4月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年4月期1Q	1,933,454株	27年4月期1Q	ー株

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を平成28年4月期から行っているため、平成27年4月期第1四半期の期中平均株式数（四半期累計）の記載はしていません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、ギリシャ財政問題、中国の景気減速等の海外発の景気下振れリスク要因を含みながらも、6月日銀短観によると、雇用環境の改善基調を背景に個人消費の底入れ感が広がり、大企業全産業のD I（業況判断指数）は前回調査より改善するなど、緩やかな回復を続けております。

このような経営環境のもと当社グループは、モバイル（スマートフォン及び携帯電話）アクセサリーの販売について、自社企画商品の開発強化のために組織変更を実施し、付加価値の高い個性的な商品を積極的にリリースするなど、販売拡大に注力いたしました。また、自社開発のECバックオフィスシステム「ネクストエンジン」について、「米Amazon (Amazon.com) 用自動連携」「eBay用自動連携」といった、国内EC事業者の「越境EC」を支援するアプリをリリースするなど、プラットフォーム化のメリットを最大限に活用したサービスを積極的に展開いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,271百万円、営業利益は40百万円、経常利益は40百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は24百万円となりました。

なお、スマートフォンの新機種発表時期、年末におけるクリスマス需要などの影響により、通常、第2及び第3四半期連結会計期間と比較して、第1四半期連結会計期間は、売上が伸び悩む傾向にあります。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

また、当社は、第1四半期の業績開示を平成28年4月期から行っているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

#### ① コマース事業

自社企画商品の開発に積極的に取り組み、ディズニーキャラクターが波に浮かんで動くスマートフォンケースや、働く女性をターゲットにした上品な手帳型スマートフォンケースなど、個性的な新商品を継続的にリリースいたしました。この結果、コマース事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は1,088百万円と底堅く推移いたしました。この結果、海外展開の強化に伴う先行投資の影響により、セグメント利益（営業利益）は1百万円となりました。

#### ② プラットフォーム事業

国内EC事業者の越境ECを支援するアプリのリリース、各種ECモールとの連携強化等、ネクストエンジンをプラットフォーム化したメリットを活用したサービスを積極的に展開したことに加え、EC事業者向けセミナーを開催して、ネクストエンジンの契約増加を図りました。これにより、総契約数1,928社（OEM除く、前連結会計年度末比112社増）、利用店舗数14,101店（同629店増、いずれも自社調べ）となりました。この結果、プラットフォーム事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は183百万円、セグメント利益（営業利益）は39百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ207百万円減少し、2,699百万円となりました。これは主に、現金及び預金が207百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ239百万円減少し、930百万円となりました。これは主に、未払法人税等が105百万円減少したことと、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が43百万円減少したこと、並びに未払金が48百万円、買掛金が34百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ32百万円増加し、1,768百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益24百万円の計上と、新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本剰余金が5百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高、営業損益、経常損益ともに、概ね当初の計画どおりで推移しております。

平成27年6月12日「平成27年4月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,437,079	1,229,532
受取手形及び売掛金	757,600	595,960
商品	374,690	469,329
貯蔵品	175	217
繰延税金資産	32,747	23,049
その他	124,042	170,717
貸倒引当金	△13,413	△13,458
流動資産合計	2,712,923	2,475,348
固定資産		
有形固定資産		
建物	55,691	55,716
減価償却累計額	△18,254	△19,924
建物(純額)	37,436	35,792
工具、器具及び備品	24,386	29,009
減価償却累計額	△15,414	△17,923
工具、器具及び備品(純額)	8,972	11,085
建設仮勘定	222	—
有形固定資産合計	46,631	46,878
無形固定資産		
ソフトウェア	77,513	82,836
その他	28	28
無形固定資産合計	77,542	82,865
投資その他の資産		
投資有価証券	146	646
保険積立金	23,933	23,933
繰延税金資産	15,994	23,218
その他	17,533	35,656
投資その他の資産合計	57,607	83,454
固定資産合計	181,782	213,198
繰延資産		
株式交付費	11,850	10,834
繰延資産合計	11,850	10,834
資産合計	2,906,555	2,699,381

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 4 月30日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成27年 7 月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	174,439	139,836
1年内返済予定の長期借入金	174,311	169,322
未払金	205,434	157,232
未払費用	66,955	69,992
未払法人税等	120,090	14,216
賞与引当金	30,771	18,250
返品調整引当金	5,552	3,833
ポイント引当金	447	918
その他	7,094	9,269
流動負債合計	785,097	582,870
固定負債		
長期借入金	357,928	319,186
退職給付に係る負債	12,699	14,318
資産除去債務	14,105	14,114
固定負債合計	384,733	347,618
負債合計	1,169,830	930,489
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	519,061	522,035
資本剰余金	439,061	442,035
利益剰余金	762,221	786,378
株主資本合計	1,720,344	1,750,449
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,379	18,441
その他の包括利益累計額合計	16,379	18,441
純資産合計	1,736,724	1,768,891
負債純資産合計	2,906,555	2,699,381

## ( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

( 四半期連結損益計算書 )

( 第 1 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 5 月 1 日 至 平成27年 7 月 31 日)
売上高	1,271,708
売上原価	720,926
売上総利益	550,781
返品調整引当金戻入額	5,552
返品調整引当金繰入額	3,833
差引売上総利益	552,500
販売費及び一般管理費	511,687
営業利益	40,813
営業外収益	
受取利息	13
為替差益	1,673
その他	674
営業外収益合計	2,361
営業外費用	
支払利息	1,052
支払保証料	934
株式交付費償却	1,015
その他	160
営業外費用合計	3,163
経常利益	40,011
特別損失	
固定資産除却損	97
特別損失合計	97
税金等調整前四半期純利益	39,914
法人税、住民税及び事業税	12,260
法人税等調整額	3,495
法人税等合計	15,756
四半期純利益	24,157
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,157



(四半期連結包括利益計算書)  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 5 月 1 日 至 平成27年 7 月31日)
四半期純利益	24,157
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	2,062
その他の包括利益合計	2,062
四半期包括利益	26,219
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	26,219
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 5 月 1 日 至 平成27年 7 月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	コマース事業	プラットフォーム事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,088,082	183,626	1,271,708	1,271,708
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,088,082	183,626	1,271,708	1,271,708
セグメント利益	1,753	39,060	40,813	40,813

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。